

## 健康スコアリングレポートについて

健康スコアリングレポートの活用方法について毎年委員間で共有していただいている。

令和3年度については、第2回データ分析部会で共有いただく予定であったが、健康スコアリングレポートの発出時期が遅れたため、第3回データ分析部会についてご発表いただきたい。

なお、共有方法等については昨年度の部会においてご協議いただき、各保険者が共通して分析する内容をあらかじめ以下のように定めた。

### ○各保険者が分析して共有する内容

- ・年齢構成
- ・性別
- ・事業・業務（公営国保の場合は地域の特徴）
- ・受診率や医療費の状況等から主に取り組んでいる保健事業（又は今後取り組みたい事業）等
- ・健康スコアリングレポートの活用状況（事業主や予防健康づくり部門との連携）

今年度も同様の項目に基づき事前に各委員において分析いただき、第3回データ分析部会で共有いただくことでいかがか。

※国民健康保険、後期高齢者医療広域連合の保険者は、国保データベース(KDB)システムから健康スコアリング(健診)と健康スコアリング(医療)を出力し、分析をお願いします。出力する際、作成年月はRO2年度、比較先は、県(後期高齢者医療広域連合の場合は国)としてください。

## 参考例

### 【被用者保険】

- ・従業員の平均年齢が〇〇歳と比較的高く、一人当たり医療費が健康保険組合平均より高い。
- ・業種全体として喫煙者が多く、喫煙が課題である。
- ・はがき送付による受診勧奨を行っているが、被扶養者の特定健診実施率が組合平均と比較して低い。
- ・勤務形態がシフト制であり、生活習慣が不規則になっている。  
このためか、肥満や血圧などが、組合平均と比べて高くなっている。  
医療費についても、生活習慣病に関する医療費が高い。
- ・上記の状況から、糖尿病性腎症重症化予防に取り組んでいきたい。
- ・また事業主と健康スコアリングレポートについて、意見交換を行い、保健事業へのさらなる協力を得た。

### 【公営国民健康保険】

- ・受診率が都平均と比較して低い。40才代の受診率が課題。今後はSNSなどを活用してさらなる受診勧奨・普及啓発に取り組む予定。
- ・●●区の調査では平均歩数が〇〇歩と都平均より低く、国保においても都平均より運動が低くなっている。  
このため、肥満等が比較的高くなっていると考えられる。  
医療費についても、生活習慣病に関する医療費が高い。
- ・上記の状況から、まずは、特定健診の未受診者勧奨に引き続き取り組んでいく。
- ・また予防健康づくり部門と健康スコアリングレポートについて、意見交換を行い、保健事業へのさらなる協力を得た。